

令和3年度 第3回

中山間地域サポート人材育成研修・地域おこし協力隊研修会

過疎化が進む地域では、高齢化や少子化による担い手不足やコミュニティ機能の低下などの様々な課題を抱えています。こうした課題を解決するためには地域の人材や資源を活かした取り組みを行っていくことが重要です。

第3回目となる本研修は、中山間地域サポート人材育成研修と地域おこし協力隊研修と合同で、「地域での起業・継業」をテーマに、起業の専門家による講演や地域おこし協力隊OBによる事例発表を行います。

日時：令和4年3月14日(月) 9:30~10:45

会場：富山県民会館 704号室

対象：地域協議会等地域運営組織・自治会・自治振興会等の地域づくり関係者
地域おこし協力隊員（OB・OG含む）、受入地域・団体、
地域活動や地域おこしに取り組んでいる方、行政職員 など

対面受講定員
30名程度

基調講演 地域の中での起業・継業

一般社団法人起業支援ネットワークNICE 代表理事
株式会社タンク 代表取締役

増田 紀彦 氏



1959年生まれ。地方新聞社、広告会社勤務を経て、87年、株式会社タンク設立。企業広報や商品開発支援、地方活性化などに取り組む。
97年、起業・独立・新規事業を応援する情報誌『アントレ』創刊に参加。
2004年、05年には経済産業省後援プロジェクト「ドリームゲート」で起業家育成プログラムのファシリテーターを務める。
その後、中小企業大学校講師、厚生労働省女性起業支援委員会座長、財団法人女性労働協会理事などを歴任。
07年、経済産業省『起業支援ネットワークNICE』チーフプロデューサーに就任。同事業の民営化により、10年より一般社団法人起業支援ネットワークNICE代表理事就任。
09年には地域産品応援の店「なみへい」を東京にて共同設立。
11年以降、全国の中小企業や生産者の経営改革支援及び新分野進出支援ならびに起業希望者の起業実現支援に取り組む。著書に『起業・独立の強化書』（朝日新聞社）、『正しく儲ける「起業術」』（アスコム）。

事例発表 Bed & Kitchen SORAIRO マネージャー 元・氷見市地域おこし協力隊員

澤田 典久 氏



2015年~2018年氷見市地域おこし協力隊として活動。
速川地区の特産品（サツマイモ）の6次産業化（焼酎、干し芋、チップス）の推進を行う。
任期後定住交流センターのマネージャーとして勤務。
現在は氷見市地域おこし協力隊現役隊員の相談・研修・サポートも行っている。福井県出身。

